

**一般財団法人
ちくご川コミュニティ財団
中期計画
(2024.4.1～27.3.31)**

2024年5月

はじめに

5年前の設立以来、ちくご川コミュニティ財団（当財団）を支え応援していただいた皆様に心から感謝致します。また、当財団に関心をもってフォローしてきて下さった皆様にお礼申し上げます。当財団は、皆様お一人おひとりに支えられて生れ、活動してきた市民立の財団です。どうか引き続きよろしく願います。

2024年4月から当財団の第6年度が始まりました。次ページより記す計画は、ちくご川コミュニティ財団第3次中期事業計画として第6年度から第8年度まで実施するものです。

今次中期事業計画は、これまでの2つの中期事業計画とは異なり、当財団事業を実際に計画し、動かしている庄田清人理事/事業部長を中心とした当財団プログラムオフィサー（PO）たちが、設立後5年間で積み重ねられた当財団の経験と実績を再検討し、かつ当財団が取り組む社会課題と日本や筑後川関係地域の社会情勢を勘案し、作成したものです。

第1次中期事業計画は、創業者の思いが詰まったものでした。『市民が主体的に公益を担う社会を実現するために「人の役に立ちたい」と活動している方々へ「活動の力になりたい」を届けます。』をどう実現するかを模索し、つくり上げ、実施しました。

しかし、2年が経ち、子ども若者応援助成事業や2020年度通常枠休眠預金等活用事業を開始し、災害支援基金の立上げと助成実施を進める中で、当財団の優先事項が見えてきました。そこで第1次中期事業計画実施の途中ではありましたが、2021年10月第2次中期事業計画を作成し、本年3月まで実施してきました。事業の優先事項を困難を抱える子ども若者支援と自然災害支援の2つに絞るとともに組織基盤強化を目指しました。

結果は次の通りです。

- 1) 子ども若者応援助成を2度にわたり実施し、そのうち1回はクラウドファンディング（クラファン）で資金を集め、計12の団体を支援しました。
- 2) 20年度及び21年度休眠預金等活用事業資金分配団体として着実に事業を行い財団としての力をつけることができました。第2次中期事業計画最終年度には、西日本新聞と共同でクラファンを行うことで、多様な学びの為の奨学金事業を立ち上げると同時に地方自治体の政策にも影響を与えることができるようになりました。
- 3) 23年夏には、災害支援基金事業を中心に地元久留米の災害への対応もしっかりと行うことができました。
- 4) 組織基盤強化の面では、2022年11月に非営利組織評価センターのグッドガバナンス認証を取得しました。また、P03人体制を実現し、クラファンを始めとするファンドレイジングや広報の能力も向上しました。地方自治体からも度々相談が寄せられるようになりました。

今当財団のホームページを覗くと当財団の事業がはっきりわかります。助成、組織基盤強化、環境整備事業の3事業です。今次中期事業計画では、中長期アウトカムを明確にし、そこに向かってこれら3事業を展開し、生れたアウトプットが短期アウトカムへと繋がるようになることを具体的に示しています。

当財団は、5年後10年後に「筑後川関係地域において、あらゆる分野の民間公益活動を支えるプラットフォームの役割を果たし、地域の持続可能性の向上に貢献している」団体になります。そうなるために今次中期事業計画で描かれた3年後の姿に向かって同計画を推進して参ります。どうかよろしくお願いいたします。

1. 中長期アウトカム

【長期アウトカム】5～10年後の目標

「筑後川関係地域において、あらゆる分野の民間公益活動を支えるプラットフォームの役割を果たし、地域の持続可能性の向上に貢献している」

【中期アウトカム】3年後の目標

「持続可能な事業運営、組織体制の整備、財源の確保により、筑後川関係地域の民間公益活動（特に子ども・若者支援、家庭支援、災害支援）を支えるプラットフォームの役割を果たし、地域の持続可能性の向上に寄与している」

2. 短期アウトカム・アウトプット・活動

上記の中長期アウトカムにつながるものとして、事業、組織、財源の3本柱に分類し、4個の短期アウトカムを設定した。達成時期は中期計画中（1～3年後）とし、それぞれにアウトプット、活動を計画している。詳細は以下の通り。

「事業」の柱

【短期アウトカム1】

子ども若者支援、家庭支援、災害支援に特化した助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する
<指標>

- ① 休眠預金活用事業の実行団体が組織評価・診断を受け、組織基盤が強化されていると判断できるか
- ② 独自プログラムの助成先団体が組織評価・診断を受け、組織基盤が強化されていると判断できるか
- ③ 筑後川関係地域において、アンケート調査などにより子ども若者支援、家庭支援、災害支援に関わる社会課題の理解が広まっているか

【アウトプット1】

- 1-1. 休眠預金活用事業による子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成、組織基盤強化、環境整備を実施している
- 1-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、子ども若者支援、家庭支援、災害支援におけるCSOの組織基盤強化、環境整備を実施している
- 1-3. 独自プログラムにより子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成事業を実施している
- 1-4. 独自プログラムとして、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している

【活動1】

- 1-1-1. 休眠預金活用事業 2021年度通常枠の実施

- 1-1-2. 休眠預金活用事業 2023 年度通常枠の実施
- 1-1-3. 休眠預金活用事業 2023 年度緊急の実施
- 1-1-4. 休眠預金活用事業による災害支援の実施
- 1-1-5. 2024 年度事業の申請について検討する
- 1-2-1. 活動支援団体として案件形成し、申請する
- 1-2-2. 活動支援団体として事業を実施する
- 1-3-1. 子ども若者基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施
- 1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施
- 1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施
- 1-4-1. CCF 組織基盤強化メニューの実施
- 1-4-2. CCF 環境整備メニューの実施

「組織」の柱

【短期アウトカム2】

「公益財団法人・グッドガバナンス認証団体として更なるガバナンス・コンプライアンス体制の強化ができ、地域社会から信頼されている」
<指標>

- ①CCF に関するアンケート・ヒアリング調査により、地域から信頼されていると判断できるか
- ②CCF の運営を支えるマンスリーサポーターの数が増加しているか
- ③CCF の寄付収入が大きくなっているか

【アウトプット2】

- 2-1. 公益財団法人化が実現している
- 2-2. グッドガバナンス認証の更新ができている
- 2-3. 次期理事会、評議員会について検討できている

【活動1】

- 2-1-1. 公益財団法人化のための申請作業
- 2-2-1. 規定類の整備状況のチェック
- 2-2-2. 規定類の運用状況のチェック
- 2-2-3. 更新のための申請
- 2-3-1. 検討会の実施
- 2-3-2. 役員候補者の検討

【短期アウトカム3】

「プログラムオフィサーやバックオフィスに適材適所の人材確保がなされ、かつ業務効率が改善されることにより、グループ・ダイナミクスが起きている」
<指標>

- ①グループ・ダイナミズムを確認し拡充を促すための組織評価・診断の結果から組織力向上のための計画が策定されているか
- ②組織評価・診断の結果が改善しているか

【アウトプット3】

- 3-1. P0人材が確保でき、育成の仕組みができています
- 3-2. B0人材が確保できています
- 3-3. P0・B0人材がチームとして業務を実施している

【活動3】

- 3-1-1. P0人材採用のための活動
- 3-1-2. P0評価プログラムの作成
- 3-1-3. P0人材育成プログラムの作成
- 3-2-1. B0人材採用のための活動（即戦力人材の確保）
- 3-2-2. B0業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用
- 3-3-1. P0チームの組成・運用
- 3-3-2. P0・B0連携の仕組みづくり

「財源」の柱

【短期アウトカム4】

「休眠預金活用事業による財源確保とそれ以外の財源として、寄付収入の増加、遺贈寄付の推進、自主事業による収入、自治体からの委託事業等の獲得により、財源の多様化と安定化を果たす」

<指標>

財務諸表の分析により財源の多様性や安定性が改善しているか

【アウトプット4】

- 4-1. 休眠預金活用事業（2021年度通常枠、2023年度通常枠・緊急枠）による財源の確保と事業ごとの自己資金の調達ができている
- 4-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体に選定されている
- 4-3. 寄付収入が増加している
- 4-4. 遺贈寄付の獲得、もしくは遺贈寄付につながる案件がある
- 4-5. 行政等からの委託事業を獲得している
- 4-6. 自主事業による収入がある

【活動4】

- 4-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立
- 4-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得
- 4-2-1. 活動支援団体として案件形成・申請し、非資金的支援に関わる財源を獲得する
- 4-3-1. CCF マンスリーサポーター制度の改善に関わる活動
- 4-3-2. 法人寄付獲得のための活動
- 4-4-1. 遺贈寄付推進のための活動
- 4-5-1. ガバメント・クラウドファンディングについての委託事業等
- 4-5-2. 企業連携についての委託事業等
- 4-5-3. みんなくるとの協働による資金の獲得
- 4-6-1. 有料の伴走支援メニューの実施
- 4-6-2. 出版物の発行・販売

3. 事業計画表（事業スケジュール）

活動	2024 年度												2025 年度												2026 年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1-1-1. 休眠預金活用事業 2021 年度通常枠の実施																																				
1-1-2. 休眠預金活用事業 2023 年度通常枠の実施																																				
1-1-3. 休眠預金活用事業 2023 年度緊急の実施																																				
1-1-4. 休眠預金活用事業による災害支援の実施																																				
1-2-1. 活動支援団体として案件形成し、申請する																																				
1-2-2. 活動支援団体として事業を実施する																																				
1-3-1. 子ども若者基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施																																				
1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施																																				
1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施																																				
1-4-1. CCF 組織基盤強化メニューの実施																																				
1-4-2. CCF 環境整備メニューの実施																																				
2-1-1. 公益財団法人化のための申請作業																																				
2-2-1. 規定類の整備状況のチェック																																				
2-2-2. 規定類の運用状況のチェック																																				
2-2-3. 更新のための申請																																				
3-1-1. PO 人材採用のための活動																																				
3-1-2. PO 評価プログラムの作成																																				
3-1-3. PO 人材育成プログラムの作成																																				
3-2-1. BO 人材採用のための活動（即戦力人材の確保）																																				
3-2-2. BO 業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用																																				
3-3-1. PO チームの組成・運用																																				
3-3-2. PO・BO 連携の仕組みづくり																																				
4-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立																																				
4-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得																																				
4-2-1. 活動支援団体として案件形成・申請し、非資金的支援に関わる財源を獲得する																																				

